

津波・高潮・波浪の警報・注意報

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分後を目途に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

また、高潮・波浪による災害の発生が予想される場合には、高潮・波浪警報または高潮・波浪注意報を発表します。

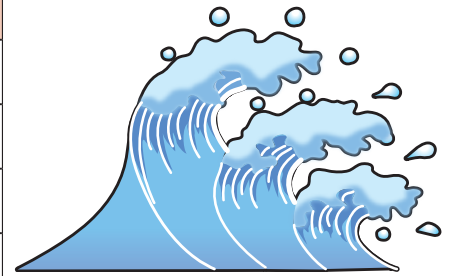
津波警報・注意報の種類

※大津波警報は特別警報に位置づけられています。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m< 予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m< 予想高さ ≤ 10m)		
		5m (3m< 予想高さ ≤ 5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m< 予想高さ ≤ 3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m ≤ 予想高さ ≤ 1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

高潮・波浪予報の種類

種類	発表の基準
高潮警報	予想される潮位が2.3m以上である場合。
高潮注意報	予想される潮位が1.9m以上2.3m未満である場合。
波浪警報	有義波高2.5m以上である場合。
波浪注意報	有義波高1.5m以上2.5m未満である場合。



避難時の心得

高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。



なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。

正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。



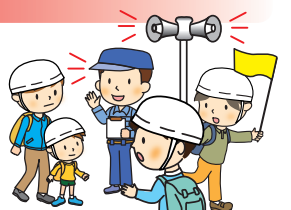
河川や海岸には近づかない

地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。



避難指示に従う

避難指示が発令されたらただちに指示に従い、安全で高い場所に速やかに避難しましょう。



避難情報

市では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」を発令し、避難を促します。避難勧告などを発令するときは、さまざまな状況を総合的に判断して発令します。

大雨のとき

大雨のときの避難行動

避難は災害から命を守るための行動です。大雨による災害から身を守る避難行動は、従来、避難勧告等の発令時に行う避難所への避難が一般的でしたが、今後は次のすべての行動を避難行動とします。

※特に、河川氾濫の浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、皆さんが早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、ただちに危険な区域から離れる。自主避難をすることが命を守ることになります。

屋外が安全で移動できる状態のとき

指定避難所への移動

警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難(公園、親戚や友人の家等)

近隣の強固で高い建物等への移動

屋外が危険な状態などのとき

建物内の安全な場所での待避(家屋内の垂直避難)

やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

地震のとき

大きな地震に伴って、多くの家屋が崩壊し、その後の余震により家屋が倒壊のおそれがあるとき、又は火災が発生して大規模な延焼拡大のおそれがあるとき。

※ただちに避難所を開設するよう努めますが、時間がかかる場合があります。

火災のとき

大規模に延焼が拡大するおそれがあるとき。



その他

災害が発生するおそれがあるとき。

さまざまな情報伝達機器で瞬時に緊急情報を伝える Jアラート

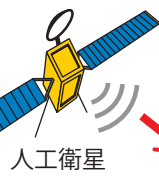
国に設置



消防庁送信システム



LGWAN インターネット
地上回線 (衛星回線のバックアップ)

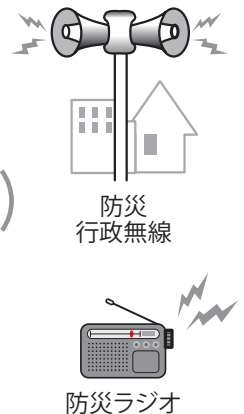


人工衛星

地方公共団体に設置



自動起動機



Jアラートとは

弾道ミサイル情報、大津波警報、緊急地震速報等の緊急情報を、人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、市区町村の防災行政無線や携帯メール、コミュニティFM等を自動起動させるもので、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

整備状況 (消防庁調べ:平成 27年 5月 1日現在)

ほぼすべての地方公共団体が Jアラートの受信機を整備(1742 団体/1742 団体(100%))
受信した情報を人手を介さず自動的に住民へ伝達できる体制を整備(1731 団体/1742 団体(99.4%))

災害での活用事例

- 東日本大震災で大津波警報を Jアラートで受信し、防災行政無線から自動放送されたことで、スムーズに避難誘導が行われ、住民の命が救われた事例が見られた。
- 平成 24 年 12 月、北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射情報と通過情報を、Jアラートを通じて瞬時に沖縄県内の住民に伝達した。

放送例

ゲリラ攻撃情報

警報音: ブーッ

ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。当地域にゲリラ攻撃の可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。

大津波警報

警報音: ウーン ウーン ウーン

大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難して下さい。

緊急地震速報

警報音: ピロン ポローン
ピロン ポローン

緊急地震速報。大地震です。大地震です。